

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和元年度 第2期
「対策立案」コース

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学 習 目 標	
1月21日 (火)	1限目 09:30～10:45	対策立案総論	座学	災害対応における対策立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制について学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 対策立案過程について説明できる。 当面の対応計画について説明できる。 対策立案能力について説明できる。
	2限目 11:00～12:15	計画立案プロセス	座学	「当面の対応計画（インシデント・アクション・プラン）」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 計画立案が扱う範囲を説明できる。 当面の対応計画について説明できる。 状況認識の統一について説明できる。 目標による管理について説明できる。 資源管理について説明できる。 当面の対応計画の構造について説明できる。 責任担当期間計画について説明できる。 災害対策本部の進め方について説明できる。
	3限目 13:15～14:30	地図による状況認識の統一とISUTの試み	座学	GISによる統合された情報提供の必要性和ISUTの有効性について学ぶ。	田口 仁 (防災科学技術研究所) 佐藤 良太 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> GISの必要性を説明できる。 GISとは何かを説明できる。 事例を説明できる。 GISを活用するためのポイントを説明できる。 統合された情報システムの構築に向けて説明できる。 大規模災害時の国による情報集約支援（ISUT）の仕組みについて説明できる。
	4・5限目 14:45～16:00 16:15～17:30	災害対策本部運営演習	演習	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学ぶ。	山本 晋吾 (兵庫県消防学校) 新堀 賢志 (火山防災推進機構)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の運営について説明できる。
1月22日 (水)	1・2限目 09:30～10:45 11:00～12:15	効果的な災害対応計画・マニュアルの立案演習	演習	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に演習形式で学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所) 東田 光裕 (防災デザイン研究会) 井ノ口 宗成 (富山大学)	<ul style="list-style-type: none"> 事前の対応計画の考え方について説明できる。 災害対応業務を整理することができる。 災害対応項目を整理することができる。 災害対応とプロジェクトマネジメントについて説明できる。 防災行動計画（タイムライン）について説明できる。 業務の階層化と業務フローの可視化について説明できる。 災害対応マニュアル作成手法を説明できる。 WBS M/ACEを利用できる。
	3・4限目 13:15～14:30 14:45～16:00	応急期の政府支援	座学	発災直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学ぶ。	林 春男（防災科学技術研究所） 明田 大吾（消防庁） 鈴鹿 厚志（警察庁） 吉尾 秀治（防衛省） 大井 良司（海上保安庁） 吉田 邦伸（国土交通省） 大城 健一（川崎市立看護短大）	<ul style="list-style-type: none"> 政府の諸機関の活動方針について説明できる。 状況に応じて政府の資源を適切に活用する方法について説明できる。 災害応急期に実施される緊急消防援助隊の活動について説明できる。 災害応急期に実施される警察災害派遣隊の活動について説明できる。 災害応急期に実施される自衛隊の活動について説明できる。 災害応急期に実施される海上保安庁の活動について説明できる。 災害応急期に実施されるTEC-FORCEの活動について説明できる。 災害応急期に実施されるDMATの活動について説明できる。 災害応急期に実施される内閣府の現地対策本部の活動について説明できる。
	5限目 16:15～17:15	全体討論	演習	災害対応マネジメントにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考える。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。